



ながい 市議会だより

令和5年5月
(2023)
第141号

新緑まぶしく
新年度スタート



市内小学校の入学式

もくじ

令和5年度予算の概要	2
主な一般会計補正予算・討論	3
一般質問	4
予算特別委員会総括質疑	11
人事・6月定例会日程	12



初登校

発行／長井市議会 編集／ながい市議会だより編集特別委員会 TEL (0238) 82-8021 (直通)

長井市議会ホームページ <https://www.city.nagai.yamagata.jp/shigikai/>



令和5年度予算 一般会計 186 億 8,400 万円を可決 未来への投資

教育・子育てのまちづくりを評価

特徴的な事業

※ 1 万円未満切り捨て

ハード事業

- ◆多目的広場整備事業（1 億3,500万円）
概要：旧本庁舎解体及び広場整備をする事業、整備面積 3,400㎡
- ◆旧本庁舎跡地活用事業（1 億円）
概要：すみれ学園及びテレワーク施設の整備をする事業
- ◆公共複合施設整備事業（3,975万円）
概要：子育て世代支援センターと図書館を合築した遊びと学びの交流施設「くるんと」の整備、延床面積 5,741.19㎡
- ◆公共施設等活用事業（4,985万円）
概要：遊びと学びの交流施設「くるんと」の屋外遊具等の設置をする事業
- ◆本町東線整備事業（6,100万円）
概要：消雪道路の整備をする事業

ソフト事業

- ◆スマートシティ長井実現事業（1 億7,198万円）
概要：スマートストアの運営、デジタル地域通貨の運用、子ども見守り・有害鳥獣対策・水害対策のデジタル化、ドローンの普及・活用など
- ◆オリンピック・パラリンピックホストタウン事業（1,928万円）
概要：長井マラソン大会へのタンザニア選手団の受入れ、訪問団の派遣
- ◆遊びと学びの交流施設開設準備事業（4,432万円）
概要：書籍への I C タグの貼り付け、パンフレット等の印刷など
- ◆公園長寿命化計画更新業務委託料（2,671万円）
概要：市内の公園 8 か所の長寿命化計画を更新する業務の委託

令和5年3月定例会を2月28日から3月23日までの24日間の日程で開催しました。

市長から施政方針の説明を受け、報告4件、提案された一般議案17件、予算議案15件について審議を行い、最終日に追加提案された一般議案1件、予算議案2件、人事案件1件、議案案1件の議案を含め、すべて原案どおり可決しました。

なお、一般質問は14名の議員、予算総括質疑は3名の委員が質問に立ち、当局の考えをいただきました。

令和5年度各会計予算の総額

会計名		予算額 (万円)	前年度比 (%)
一般会計		186 億 8,400	3.8
特別会計	国民健康保険	22 億 9,306	△ 2.2
	山形鉄道運営助成事業	2 億 573	1.4
	訪問看護事業	3,136	15.2
	介護保険	33 億 2,728	△ 0.7
	後期高齢者医療	3 億 8,925	△ 3.9
	宅地開発事業	3,672	△ 62.7

※水道事業会計及び下水道事業会計を除く

令和5年度は、第五次総合計画後期計画の最終年度。「くるんと」の整備によりこれまで進めてきた大規模公共施設整備が完了します。市長は新年度の予算編成にあたり、「デジタル田園都市国家構想をはじめとする国の施策を活用した先駆的な事業のほか市民生活に欠かせない行政サービスを着実に進め、持続可能なまちづくりに取り組んでいく。国、県の制度を積極的に活用し、必要とされる事業費を措置するとともに、市債の繰上償還を見込むなど、後年度の財政負担にも配慮した」としています。

一般会計の歳入は、市税を前年度比 0・4 % 増の 31 億 1 億 9 千 4 万円、国庫支出金を 1・7 % 減の 20 億 5 千 1 百 0 万円、県支出金は 2・2 % 増の 10 億 8 千 9 百 5 千 9 万円、市債は 34・6 % 減の 6 億 4 千 3 百 8 0 万円計上し、ふるさと納税を含む寄付金は昨年度と同額の 20 億 5 千 0 万円、繰入金金は 29・1 % 増の 29 億 2 千 6 百 3 千 3 万円と見込みました。歳出では、普通建設事業費で、前年度比 29・4 % 減の 9 億 3 千 0 百 8 千 5 万円、補助費は 0・3 % 増の 3 億 8 千 8 百 0 万円。特別会計の合計額は、前年度比 2・3 % 減の 62 億 8 千 3 百 4 千 1 万円となっています。

主な一般会計補正予算 ※ 1万円未満切り捨て

◆公共複合施設整備事業（12億2,339万円）

概要：子育て世代支援センターと図書館を合築した遊びと学びの交流施設「くるんと」の整備をする事業

◆小学校施設環境改善事業（7,840万円）、中学校施設環境改善事業（2億7,050万円）

概要：伊佐沢小学校のトイレを洋式化、南北中学校の屋外防火水槽や屋根の吹き替えなどをする事業

デジタル田園都市国家構想交付金を活用した事業

◆タスビル改修事業（14億9,873万円）

◆マイナンバーカード利用横展開事例創出事業（1億4,653万円）

概要：マイナンバーカードの機能を活用し、公共施設等入退所管理システムを導入、図書館利用カードとして活用する環境の構築、スマートロックシステムの導入などをする事業

◆オンライン遠隔交流授業等実施事業（2,226万円）

概要：小中学校におけるオンライン遠隔交流授業等の実施のために必要な委託業務や備品購入をする事業

◆要介護認定事務支援システム導入事業（1,038万円）

概要：要介護認定事務における調査票と特記事項の整合性チェックにAIを導入する事業

討 論

本会議の採決の前に議題となっている案件に対し、賛成・反対の意見を表明します。

反対討論

今泉 春江 議員

遊びと学びの交流施設「くるんと」の完成に伴い、子育てサポートの充実に向けた環境づくりや18歳までの医療費無料化の継続など、概ね市民生活の向上に資する予算となっているが、記録的な物価高騰が続き、市民の暮らしは圧迫され、個人事業主は廃業・休業に追い込まれている。厳しい状況を支援するためにも、給食費無償化を行い、教育費の負担軽減を図るべき。また、介護予防・健康寿命延伸を支援するため、高齢者の補聴器購入費の助成も必要である。地方自治体の役割は、住民福祉の増進であり、そのためにもこれらを予算に反映するよう求め反対する。

令和5年度一般会計予算について

賛成討論

金子 豊美 議員

この度の予算には、遊びと学びの交流施設「くるんと」の指定管理料を含む施設運営事業費や消防団員の安全性を高めるための活動服及び雨衣の更新、団員報酬の引き上げなど、消防団に対する処遇改善も含まれている。

また、デジタル田園都市国家構想をはじめとする国の施策を活用した先駆的な取組や最も有効な事業手法を取り入れ財源対策を行い、後年度の財政負担にも配慮している。

「共創と共生の未来へ」魅力あふれる持続可能なまちづくり」をテーマとする令和5年度施政方針を実現していくためには、この度の予算は必要なものと考え賛成する。

議案第7号 令和5年度長井市宅地開発事業特別会計

反対討論

今泉 春江 議員

宅地開発は、市外からの転入者も見込まれ、住宅建設に伴う市内建設業者への経済効果や建設に係る補助金などの支援もあり、大いに賛成する。しかし、宅建業者への手数料115万円が計上されており、地方自治体は直売ができるため、手数料は発生しない。販売方法と手数料に反対する。

議案第33号 長井市定住促進住宅条例の一部を改正する条例の制定について

賛成討論

今泉 春江 議員

日本共産党市委員会が行った「長井市をもっと住みよい町に」の市民アンケートに寄せられた市民の要望であり、定住促進住宅の子育て世帯の対象年齢を15歳から18歳までに引き上げるものである。改正に伴い、子育て世帯への支援が広がり、さらに入居希望者も増える予想される。敏速な条例改正を評価し、賛成する。



政新長井
内谷 邦彦

婚活支援事業の実情と今後の展開は

弁 結婚を希望される方に
答 寄り添った婚活支援を継続

室を随時使用いただいております。報酬については年額1万円のほか、お見合い1回につき3千円、成婚報酬として2万円、また、市外での活動時の交通費をお支払いしています。

Q. 新産業団地の誘致企業として、若い女性が働く場所や、進学等で本市を離れた若者が帰ってこられるような企業を誘致すべきと考えますがどうですか。

A. 産業振興連絡協議会を立ち上げ、情報交換を行い、若者が帰ってこられるような魅力ある企業誘致を理想として、実現できるよう取り組んでまいります。

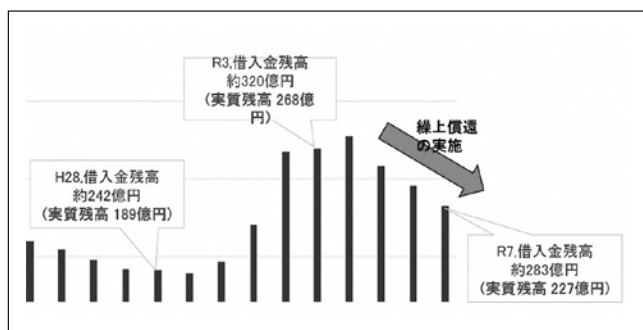
Q. 観光でも食べ物でも、若い女性をターゲットとして、いかに本市に呼び込むかを考えるべきではないですか。

A. 若い女性にも多く訪れていただきたいことから、魅力あるまちづくりに努めてまいります。また、SNSなどの情報発信力にも大いに期待しています。

Q. 少子化対策として、国では出産や育児へ経済的な支援を進めています。少子化に歯止めがかかっていないのが現状です。少子化ではなく少母化ではないかと考えます。未婚率が上がり晩婚化している中、婚活支援事業が非常に有効だと考えます。

本市の婚活サポーターの活動について、常に情報交換できる部屋は提供できないのですか。また、報酬はどのようなになっていますか。

A. 市民相談センターの相談



公債費の推移 (一部抜粋)



婚活パーティー (イメージ)



清和長井
鈴木富美子

今後の公債費抑制対策は

弁 財政対策を十分講じ、市民
答 サービスを着実に進める

後年度負担を軽減し、なおかつ、安定的な財政運営を行ってまいります。

Q. 飯豊町は昨年12月に児童発達支援施設を開所し、白鷹町では令和5年4月に児童発達支援センターの開所が予定されています。そのような中本市でも、児童発達支援施設「すみれ学園」を移転、新築するということですが、そこに至った経緯を伺います。

A. 市内外の各施設での受入れ人数に限界があるため、利用希望者が誰一人取り残されることがないように、また、利用者の特性にあった施設の選択を望む声があることを受け、施設を整備します。

Q. 「すみれ学園」開所後のサービス内容や提供体制など、運営についてはどのように考えているのか伺います。

A. 現在の未就学児への児童発達支援に加え、新たに放課後等デイサービスを実施します。また、新たな施設開所後は、医療的ケア児の支援を進めていきます。

Q. 令和4年の市債残高は245億7080万9千円です。市民一人当たりすると約100万円になります。実質公債費比率が18%以上になると、起債の際、国の許可が必要になり、市民向けの事業などを縮小しなくてはならなくなります。そうならないよう今後公債費をどのように抑制していくのですか。

A. 新たな起債額を最小限に留めること、歳入部分の財源対策を行うこと、市債残の計画的な繰上償還を行うなど、

Q. 多くの高齢者は、慣れ親しんだ地域で生活をしたい願望がある一方、除雪の不安を抱えています。高齢者の除雪負担を軽減するため、地域による除雪ボランティア活動の普及拡大が必要と考えます。未実施地域に対しどのように支援していきますか。

A. 先進事例（豊田・致芳地区）を参考にし、地域支援合いの除雪活動事業により、未実施地区に横展開します。令和5年度は伊佐沢地区での実施を予定しており、他の地区

併 答
先進事例を参考に除雪ボランティア設置を支援

地域の力で除雪不安の解消を



共創長井
竹田 陽一

にも順次展開していきます。

Q. 自然災害への緊急支出などを想定すると、今後も健全財政を堅持することが重要です。ふるさと納税による寄附金は貴重な自主財源です。寄附金をより多く確保するため、新たに魅力ある体験型サービスを返礼品とするなど、ふるさと納税制度の充実を図るべきと考えますがいかがですか。

A. ふるさと納税のお礼の品としてご提案いただきました「魅力ある体験型サービス」について、関係機関と連携し検討していくとともに、引き続きふるさと納税制度に係る事業の充実を図ります。

Q. 高齢者や障がい者等の避難においては、避難所の段差やトイレの課題があります。今後どのように避難所のバリアフリー化を進めますか。

A. 大きな避難所である小学校については、いざというときも誰もが利用できるバリアフリー化を目指し、次期の公共施設等整備計画の中で改築、改修、他の施設との合築等も含めて検討していきます。



芳文庫ギャラリー



除雪ボランティア（致芳地区）

Q. 農業分野におけるスマート化について、ドローンを活用した省力化は一つの手段ですが、どのように地域農業を支援していくのか伺います。

A. スマート農業の推進にあたっては、現場で働く皆さんの声を聴くことが重要です。農業者をはじめ関係機関の皆様と意見交換をしながら、一緒に考えてまいります。

Q. 循環型地域づくりの軸であるレインボープランについて、コンポストセンターの老朽化への対応が急務です。

併 答
美術館の整備に代えて「まちなか美術館」を検討

美術館の整備を県に要望しては



緑風会
小関 秀一

調査中のバイオガス発電設備の導入は、慎重に市民の意見を集約する必要があります。生産現場も変化し、地域循環のシステムがどう維持され、どう次世代を見据え理念を継承するのか伺います。

A. 「バイオガス発電によるエネルギーの循環」というレインボープランの理念を土台とした新たな取組について、来年度、導入についての調査を行い、関係者の皆様のご意見を伺いながら検討します。

Q. 本市では、小桜館を中心に文化的継承の拠点づくりを進めてきましたが、故菊地隆知氏の作品や芳文庫、やませ蔵など文化の継承と観光に資する施設の整備が必要と考えます。現図書館跡地の利用を検討し、美術館の整備を県に要望してはいかがでしょうか。

A. 関連する計画に基づき、今後、旧丸大扇屋及び小桜館の修繕並びに宮・小桜エリアの面的整備を行います。現図書館跡地の利用は検討します。美術館の整備に代えて「まちなか美術館」を検討します。



公明党
赤間 泰広

带状疱疹ワクチン接種 助成の再考を

弁 答
有効性や安全性等専門家の議論の動向を注視

いて、定期接種化を検討するワクチンの一つとして、有効性や安全性について慎重に議論が行われています。こうした専門家の議論の動向を注視しながら検討してまいります。

Q: 今後の図書館運営で、3月末から9月まで閉館というところで、移動図書館「いなほ号」の運用停止期間をできるだけ短縮し、子どもたちが本に触れる機会を止めないでほしいと思いますがどうですか。

A: 閉館期間は、引越し作業のほか ICT タグ関係作業等もあり、物理的に「いなほ号」の運行はできない状況です。学校に司書を派遣してのブックトーク等の実施を検討します。

Q: 地域の宝でもある「三階滝」を、観光資源として活用したハード・ソフト面の整備の検討を提言します。

A: 道路については、県も含めて検討が必要です。三階滝は周辺の立ち寄りスポットと組み合わせ活用する方向で、地元の皆様と一緒に検討し活動することが重要と考えています。

Q: 新型コロナウイルス感染症が流行する中、带状疱疹を発症する高齢者が急増しています。昨年の9月定例会でも同じ質問をしましたが、多くの市民から、早く前に進めていただきたいという意見をいただきました。

日本人は、80歳までに約3人に1人が発症するといわれています。市民の健康と安心という観点から、市長には再度前向きに検討していただくよう提言します。

A: 国の厚生科学審議会にお



定住促進住宅ながいみなみ



带状疱疹ワクチン (イメージ)



日本共産党
今泉 春江

市民アンケートの 受け止めは

弁 答
市民の声を市政運営に生かす

Q: 日本共産党長井市委員会が行った「長井市をもっと住みよい町に」という5千世帯に配布したアンケートの結果を、市民の市政への意見として、市長、市議会議長に届け、市政に反映されるよう要請をしました。このアンケート結果をどう受け止めますか。

A: 11項目や自由に記載した内容を全て頂戴しました。市民の声を真摯に受け止め市政運営に生かさなければと思います。

Q: 定住促進住宅ながいみな

みに入居するひとり親世帯の方から、「子どもが高校生になると一般世帯の家賃となり生活できない。高校まで子育て世帯の家賃にしてほしい」と要望が寄せられました。緊急に、ひとり親世帯の家賃要件を高校生までに引き上げるよう求めます。

A: 子育て世帯、これは義務教育の15歳以下の同居親族という定義だったので、子育て支援住宅ですので10年という期限はありますが、ひとり親にかかわらず18歳以下まで要件を広げ、早急に対応いたします。

Q: 昨年8月3日の豪雨災害での、体が不自由で避難できなかった方や避難指示がわからなかった方、冠水して車で避難できなかったなどの問題をどう解決していきますか。

A: 市内の準用河川や消火栓など20か所に、水位を監視する監視センサー、カメラを設置しました。また、防災ラジオはいざというとき命を守ってくれるということを認識し活用いただきたいと思います。

Q: 市内小中学校の校則や内規を見ると、枠にはめられた感があります。また、行動ルールや服装、身なりの規定では疑問を感じるものもあります。昨年改正された生徒指導提要でも、児童生徒が主体的に校則の必要性や内容を考えることの重要性が指摘されています。こうした背景を踏まえ、保護者等の意見を交えて校則を見直し、ホームページ等で公開するようにしてはいかがですか。

A: 生徒指導提要に示された

弁 答
必要な校則の見直しと積極的な公開へ

児童生徒と共に校則を見直し、公開しては



勝見英一朗

方針のもと、長井南中学校では、生徒会が中心となり、教員・生徒が議論し、校則の見直しが行われました。

地域と学校が一体となって子どもを育てる土壌をつくるためにも、公開については積極的に促していきます。

Q: 市職員の時間外勤務は増加傾向にあります。また、年休や男性職員の育児休業等の取得も十分とは言えません。市職員が職務に専念できる環境を整えるとともに、男女共同参画社会を推進するために、勤務時間が過重にならないような配慮や、休暇を取得しやすい環境づくりが大切と考えますがいかがですか。

A: 本市の有給休暇の平均取得日数は、ほぼ全国平均並みとなっています。今後は、長井市特定事業主行動計画に掲げる、各種休暇を併せての連続取得の促進を呼びかけていきます。また、新たな休暇等の創設も具体的に検討しながら、有給休暇の取得促進に取り組んでまいります。



長井市中央コミュニティセンター「ふらり」



学校の校則「HPなどで公開が適切」手引き
NHK ホームページより

Q: 指定管理者制度を導入する目的は、施設の運営コストの削減と行政コストの削減、行政組織の見直しや外郭団体への業務委託の見直し、また、サービスの向上、住民自治の拡充等が期待されています。市内の施設に制度を導入してから約15年が経過したことから、メリット、デメリットも含めどのように評価しているのか伺います。

A: 人件費の削減や財源の安定的な確保というメリットを互いに共有しつつ、制度の導

弁 答
指定管理者との信頼関係を強固にし制度を継続

指定管理者制度導入の評価は



金子 豊美

入を進めてきました。今後、これまで以上に管理者との意見交換を密に行い、信頼関係を強固にしながら制度を継続していきます。

Q: ロシアのウクライナ侵攻や円安等により、電気料金や燃料費をはじめ物価の高騰が進む中、指定管理者にも厳しい対応を迫られることが予想されます。サービスの向上のためにも行政のバックアップが大切との考えから、今後の支援についてお聞かせします。

A: 物価高騰などのリスク負担については、施設との事前の取り決めや協議により対応を行っています。今後さらに大きく状況が変化するような場合は、必要性を判断し、所要の対応を行っていきます。

Q: 生涯学習プラザの指定管理者制度への移行について、現在の進捗状況と今後の取り組みについて伺います。

A: 他の公共施設の状況を踏まえて、市民の健康増進かつサービスの向上が図られ、地域に合う導入を進めていきます。



平 進介

危険空き家に対する 住宅用地特例の適用除外を

弁 法改正の動向を見ながら
答 空き家利活用の手立てを

Q 放置されたままの老朽化した危険空き家は、近隣に住む人たちへの直接的な危険と環境面でも大きな影響が出ています。地方税法等では、この特定空家の敷地に係る固定資産税等に適用される「住宅用地特例」が、自治体の判断で除外することができるようになっています。

本制度を適用し空き家対策を推進すべきではないですか。

A 空家等対策の推進に関する特別措置法など国の法改正の動きを見ながら進めていく

必要があると考えます。

地区やコミセン、民間企業のご協力をいただきながら、危険空き家となる前の段階で建物の中を整理して利活用できるような補助などの手立てを検討してまいります。

Q 適切な森林等の整備を行うため、森林環境税及び森林環境譲与税が創設され、令和6年度から国税として一人千円が課税されます。

今後、ますます放置が危惧される多くの民有林に相続が重なれば、さらに境界の確認は難しくなります。今年度から県で進めている森林資源デジタル化「航空レーザ測量」は、危険箇所把握も可能となり積極的に推進すべきです。

A 林業の成長産業化と森林資源の適切な管理のための森林管理を進めます。その中で航空レーザ測量を検討しており、森林環境確認だけでなく、地形が見える化され、山地の自然災害の危険予知、防災減災対策、治山事業等の計画作成に供されるなど、広範な利活用が期待できるものです。



復旧を待つJR米坂線（飯豊町小白川地内）



危険空き家対策は待ったなしの状況（イメージ）



鈴木 一則

JR米坂線の早期復旧と地方 路線維持に国が関わるべき

弁 早期復旧に向け
答 関係自治体が連携

Q 昨年8月3日の豪雨で、JR米坂線は、橋梁の崩落など全線で112か所の被害、山形県側では42か所が被害を受けました。復旧が進まず通学通勤に多大な影響が出ています。JR東日本新潟支社に早期復旧の要望をされましたが、目処はいかがですか。

A 今年1月16日の要望会には、山形、新潟両県と沿線自治体の全首長が出席しました。復旧の技術的課題が多く、具体的な回答は示されませんが、引き続き関係者が連

携し早期全線復旧に向け活動します。

Q 同じ豪雨被害を受けた磐越西線の一部が復旧し4月に開通します。JR、国、自治体の復旧費用負担の枠組みができています。地方路線の維持は収益が見込めず困難です。国もインフラの負担をするよう要望すべきです。

A 国は、地域公共交通再構築事業に対する補助メニューの新設や拡充など、地方鉄道再編を最優先課題としています。当該事業を積極的に活用するとともに、さらなる財政支援を要望してまいります。

Q 中学校部活動の地域移行では、中体連への地域クラブの参加が認められます。今後、部活動参加が任意となると、学校生活での部活動の意義や地域との関係、市のスポーツ振興に影響はありませんか。

A 地域の子どもたちは学校を含めた地域で育てていくことが求められています。そのためには、持続可能で多様な環境を一体的に整備することが必要です。

Q. 人口減少により、市民税や固定資産税など自主財源としての歳入が今後減少していくことが予想されます。次世代が安心して暮らせる持続可能なまちづくりを推進するため、今後の自主財源確保についてどう考えていますか。

A. 人口減少による市税等の税収減は否めませんが、施策に必要な事業費については、地方交付税で補い財源は確保できます。市税やふるさと納税などの自主財源については、大変貴重な市民のための財源

弁 答

ふるさと納税の拡充と地方交付税の活用

今後の自主財源確保の方向性は



渡部 正之

です。今後、何とか増やすような努力をしていきたいと考えています。

Q. 遊びと学びの交流施設「くるんと」の子育て支援事業は、子どもの一時預かりや育児相談など、総合的な子育てサポート機能があり、土日も事業が行われ、妊娠期から子育て期にわたり切れ目ない支援の充実が図られることから大変期待しています。しかし、事業者側から考えると、土日の支援センターの開放は、保育士確保など多くの課題もあると感じます。今後、ニーズを把握し調整を行うとともに、事業者へのフォロー体制を構築し、事業を進めていくことが重要と考えますがいかがですか。

A. 子育て支援事業では、保育士を配置し各種相談に対応する予定をしています。なお、職員は勤務時間が週5日を超えない範囲で勤務できる体制を整えていきます。また、利用者のニーズを把握しながら事業を進めていきます。



ながい黒獅子まつりオリジナルグッズ（イメージ）



貴重な財源となっているふるさと納税

Q. 昨年のながい黒獅子まつりは、雨天でしたが多くの観光客で賑わう良いイベントだったと思います。夜の雨に濡れた黒獅子の姿は艶やかで美しく、お囃子が情熱的でドラマチックに感じるものです。しかし、今後のことを考えれば、雨天でもしっかりと堪能できる仕掛けや手法が必要だと思っています。

そこで、黒獅子の波柄や可愛らしくデザイン化された獅子舞のキャラクターがプリントされたポンチョ、傘などの

弁 答

雨天対策は、棧敷席改善などを観光協会と検討

雨の日も快適に堪能できるながい黒獅子まつりのために



渡部 秀樹

雨具やタオルなどの販売について提案します。また、一度濡れた棧敷席は冷たく、長時間座るのはかなり大変です。で、棧敷席への椅子とテーブルの配置を提案します。さらに、昨年コロナ対策として新たに設けた飲食スペースに、雨除けや日除け用テントの配置を提案します。

A. まつり事業の運営は、長井市観光協会に委託し実行委員会を設けて企画運営にあたっていただいているものであり、雨天の対策もさまざま講じていただいています。

ご提案のデザイングッズなどは、ぜひ市内事業者さんに商品開発いただき、まつりの機会を捉えて商業活動を広げていただきたいと考えます。

棧敷席の改良については立ち見の観覧者からの視界を配慮しながらも、座面の低い椅子やテーブルなどの検討を行うなど、工夫は必要かと思えます。飲食スペースの予定は現段階ではないようですが、必要に応じ適切な検討をお願いしてまいります。



鈴木 裕

旧本庁舎を解体し、すみれ学園を移転することにした経緯は

弁 インクルーシブ社会の象徴となりえる場所を選定

Q. 昨年12月の全員協議会で、旧本庁舎を解体して広場を整備し、同敷地内に老朽化しているすみれ学園を移転新築する計画が示されました。すみれ学園を整備することにした経過と、都市再生整備計画検討委員会や公共施設等整備検討委員会の意見はどうだったのか伺います。また、現すみれ学園の施設は、いずれ解体する方向で考えていますか。

A. すみれ学園の移転先として、インクルーシブ教育や地域共生社会が実現できる場所

として長井小学校に隣接する旧本庁舎跡地を選定しました。各委員会では、「小学校に隣接することでインクルーシブの基盤になる」「年少期から障がいのあるに関わらず共に学び合う理念は非常に大切」などの意見がありました。現すみれ学園は老朽化により取り壊す検討をしています。

Q. 今、中学校教育で、部活動に二つの課題があります。生徒数が減少し、中学校単位でのチーム編成が困難な部があること、もう一つは、教員の長時間労働をなくすため、休日の部活動を地域に移行することです。日々の練習や中体連の大会への参加方法、地域での受け皿など、さまざまな難問に今後どのように対応していく考えですか。

A. 令和6年度から、部活動の任意加入制とする予定です。詳細については、今後検討委員会を設置し議論していきます。ていねいな説明をしながらニーズに合わせた仕組み、体制を模索していきます。



畑地化促進事業 (イメージ)



市役所旧本庁舎



梅津 善之

持続可能な農業政策に転換を

弁 食料政策は国の根幹であり強く要請する

Q. 今年度の経営所得安定対策と米政策において、令和4年度から5年間に水張りができていない水田は、水田活用の直接支払交付金の対象水田としない、また、畑地化促進事業に取り組んだ場合、その水田は次年度以降の水田活用の直接支払交付金の対象外となることなどが国から示されました。

A. 水田の畑地利用への円滑な移行を促し、畑作物の需要

に応じた生産を促進するため、生産が安定するまでの一定期間、持続的に支援を行うとともに、畑作物の産地づくりのための関係者間での調整や、畑地化に伴う費用負担等に要する経費を支援する国の事業です。

Q. 国の政策とはいえ、あまりにも生産農家のこれまでの努力を考えない政策であり、生産者からすれば理解し難い政策です。さらに、地域農業や集落営農、農村の風景までも壊れてしまいかねない政策と考えます。

持続可能な農業を共に、と考えますがいかがですか。

A. 水田活用の直接支払交付金制度における5年水張り問題などは、生産現場への影響や混乱を危惧しています。需要に応じた生産を推進しながらも、国が強い問題意識を持ち、主体的に取り組むよう、必要な支援を生産現場で一緒に考え、関係者一体となつて国などに届けてまいります。

予算特別委員会

総括質疑

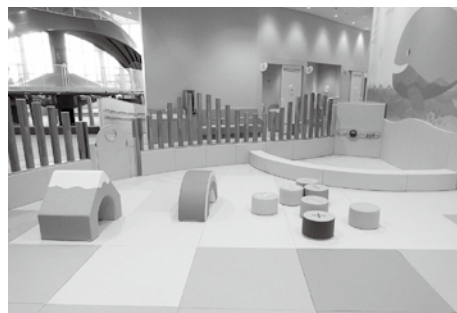
遊びと学びの交流施設を インクルーシブなものに

勝見英一朗委員 屋内遊戯場では、障がいのあるなしに関わらず全ての子どもが一緒に遊ぶことができますか。また、子どもの見守りはどうなっていますか。

子育て推進課長 東北最大級のボールプールや木製遊具など、障がいのあるなしに関わらず遊べる環境を整えています。原則として保護者同伴です。ですので、子どもの見守りは保護者ですが、ボランティアスタッフによる子どもの見守りのお手伝いも検討していきます。

委員 図書館では、高齢の方や障がいのある方などのための点字図書や朗読CDなど、どのように整備する予定ですか。また、書籍のデジタル化を進める考えはありますか。

地域づくり推進課長 これまで所蔵していた大活字本や点字図書のほかに、拡大読書器などを整備していきます。また、郷土資料や古文書などのデジタルアーカイブ構築を検討していきます。



「くるんと」の遊び場（一部）

学童クラブが、共生社会 のモデル事業になるように

鈴木富美子委員 致芳小学校の空き教室を整備し学童クラブ事業を行うことは、今までの経過からすると思いましたが、その経緯を伺います。

子育て推進課長 新型コロナウイルス感染症により、密を避けるために、学校側から一

時避難的に学校の施設を利用し開設する提案をいただき、協議、検討を進めてきました。**委員** 学童クラブでは、個性の大切さを学ばせ、また、基本的な生活習慣の指導や遊びのサポートをするとしていますが、地域や家族との関わりも増やす必要があるのではないですか。

教育長 本市では、放課後子ども教室や土曜らんの実施を通して、地域の子どもを地域で育てる活動に取り組んできました。地域の中に子どもたちの居場所を総合的に整えていくことが非常に大事だと思っています。そのためにも、コミュニティ・スクールをより進化させたスクール・コミュニティの推進が必要だと考えます。

イベントや祭りの際に まちなかを回遊する手立てを

内容邦彦委員 新型コロナウイルスの規制がなくなりつつある中、白つつじまつりや黒獅子まつりなど本市のイベントの際に、市民文化会館や旧長井小学校第一校舎に、白つ

つじや黒獅子に関連する文化財をまとめて展示し、観光客がまちなかを回遊する手立てを考えてみてはいかがでしょうか。

産業参事 イベントや祭りの際に、市内を巡っていたことは非常に大切であり、重要な文化的景観エリア内の関連する文化財等の案内を、今後ブラッシュアップしていきたいと考えています。

委員 市民が個人で所有している古美術などを提供してもらい、展示することも検討してみてもいかがですか。

産業参事 さまざまなセキュリティの問題があり難しいことではありますが、どのような展示がよいか検討し、効果のある展示会を開催したいと考えています。



芳文庫ギャラリー（市役所内）

令和5年3月定例会 議案等に対する賛否一覧表

（下記以外については全会一致で可決されています）

議案等名	議席番号 議員氏名	議決 結果	賛成	反対	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
					鈴木一則	勝見英一朗	渡部正之	鈴木裕	竹田陽一	金子豊美	内谷邦彦	渡部秀樹	平進介	鈴木富美子	赤間泰広	梅津善之	小関秀一	今泉春江	蒲生光男	浅野敏明
議案第1号 令和5年度長井市一般会計予算		原案決	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第7号 令和5年度長井市宅地開発事業特別会計予算		原案決	13	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第25号 長井市消防団条例の一部を改正する条例の制定について		原案決	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 賛否が分かれたものについて掲載しています。

○は賛成、●は反対、一は退席。議長（浅野敏明）は採決に加わらない。

★令和5年3月定例会に提出されたすべての議案等の議決結果は市議会のホームページに掲載しています。



人事

固定資産評価審査
委員の選任に同意

梅津悠子さん
(本町) 再任

次回 6月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
5月 21	22	23	24	25	26	27
			総務	文教	厚生	
			常任委員会協議会			
28	29	30	31	6月 1	2	3
産業・建設 常任委員会協議会	常任委員長会			招集告示		
4	5	6	7	8	9	10
議会運営委員会				本会議(開会) 予算特別委員会		
11	12	13	14	15	16	17
		本会議 (一般質問)		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
18	19	20	21	22	23	24
	総務	文教	厚生	産業・建設	予算	
	常任委員会				特別委員会	
25	26	27	28	29	30	31
	予算 特別委員会			本会議 (表決・閉会)		

◎請願の提出期限は、5月23日(火)の予定です。
◎すべての会議を傍聴できます。正式な日程は、市議会のホームページなどでご確認ください。

長井市議会ホームページ

長井市議会

検索

ながい市議会だより編集特別委員会



◎渡部秀樹 ○鈴木一則
鈴木 裕 鈴木富美子
渡部正之 金子豊美
(◎委員長 ○副委員長)

遊びと学びの交流施設「くるんと」
完成に伴う現地視察

公共施設整備調査特別委員会は3月30日、遊びと学びの交流施設「くるんと」の建物が完成したことに伴い、エントランスホールやカフェ、屋内遊技場、図書館等の現地視察を行いました。今後、備品の配置、外構工事が進められ8月にプレオープン、9月にグランドオープンする予定です。市内はもちろん、市外の方々も含め、世代を超えて「学び・育ち・遊び・出逢いを紡ぐ」交流施設として期待されます。



編集後記

今年は桜が3月末に咲き始め、入園・入学式の頃には見ごろを迎え、晴れの日に花を添えました。こんなに早い開花は記憶になく、これも温暖化の影響なのかもしれません。桜が開花の頃、最上川河川敷の「慶助さんの梅林」を愛犬と散歩がてら観賞しました。見事な梅の花が咲き誇り、市内外からの多くの観光客で賑わい、また一つ花観光の「名所」が増えた感じがします。
5月から長井市議会も新体制となりますが、今後も市民の皆様へ寄り添った、分かりやすい紙面づくりに努めてまいります。
(H・S)